

# 第 59 回薬物治療モニタリング研究会

## 特別ゼミナールのご案内

実行委員長 篠崎 公一

実行副委員長 渋谷 正則

第 59 回薬物治療モニタリング研究会特別ゼミナールを下記の要領で開催します。本ゼミナールでは、「TDM 症例検討ワークショップ：薬物投与設計の実際」をテーマとして、臨床に即した二種類の TDM アプローチを習得できるプログラムとしています。毎回異なる新たな TDM 実施症例を題材とし、スモールグループディスカッション(SGD)によるワークショップを行います。

1 日目は動態解析・投与設計を手計算によるアプローチとしての症例検討を行い、2 日目は PC を用いたアプローチとして TDM ソフトウェア OptjpWin Spreadsheet(別称:OptjpWinS)を用いてベイジアン法による動態解析・投与設計を検討します。おかげさまで、OptjpWinS の関連書籍が公開されました(2015 年 6 月 30 日刊:CD-ROM 付、[OptjpWin Spreadsheet TDM 症例解析テキスト](#)、じほう、東京:本体価格 3800 円)。なお、本ゼミの参加者にはご希望によりプログラム本体と簡易マニュアルを配布します。

なお、本ゼミナールは、現在および改訂版のモデル・コアカリキュラムの TDM に関する項目に準拠しています。講義、事前実習及び実務実習での TDM 教育指導の充実のために、そして TDM 業務のレベルアップにご活用下さい。また、薬学部学生の方々も実務実習の予習、復習、補習の機会として役立てて下さい。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

記

**テーマ：『TDM 症例検討ワークショップ：薬物投与設計の実際』**

**日時** : 1日目 平成28年 3月12日(土) 9:00~17:10

2日目 平成28年 3月13日(日) 9:00~17:10

**場所** : 北里大学薬学部 1号館 5階 (1日目, 2日目)

(〒108-8641 東京都港区白金5-9-1)

**内容** : 1日目 教育講演「症例から学ぶTDM実践アプローチ」,

症例提示・ポイント解説, 症例検討ワークショップ

2日目 教育講演「TDMにおけるPCの活用」,

講義・演習「OptjpWinSの機能と操作法」,

症例呈示・ポイント解説, 症例検討ワークショップ

\*受講者は、日本薬剤師研修センター認定シール6単位(1日参加は4単位)を取得できます。

詳細と申込み方法は以下のホームページをご確認ください。

[http:// http://www.rgtdm.org/特別ゼミナール-1/](http://www.rgtdm.org/特別ゼミナール-1/)